

# せぼね

タガヤ ランティア ネットワーク  
Setagaya Volunteer Network

特集

P.2-5

## 人と人がつながるボランタリーライフ



まちの市民力

P.6 ～まちの人々が自由に気軽に表現できるメディア～ 赤堤通り編集室



せたがやキラリ人

P.7 ～ふんか村学校の校長先生～ 佐藤 三智子さん



おたがいさまビュー

P.8-P.11 2026年度「せたがやチャイルドライン 公開講座」参加者募集  
ボランティア募集、講座・イベント・その他お知らせ

## 人と人がつながるボランティアライフ



ひとりぼっちの夕ごはんはつらい

ライフスタイルの変化によってさまざまな暮らし方、家庭の形態があります。

90年代後半から急速に普及したインターネットは、会ったことがない人と手軽に交流できる便利なツールである一方、ネットに依存し直接人とふれあう交流が減ることもあります。

また、核家族化が進み、家庭内・地域内での多世代交流も減っています。その他、複合的な要因で、「隣に住んでいる人のことは知らない」ことが増加しています。

そのような時代ですが、「ごはんなんて、コンビニ弁当だっていいの。つくってくれるより、いっしょに食べてほしいの」という、高齢者やひとり暮らしの人たちの声を耳にしたことから、世田谷ボランティアセンターでは2013年11月から「しもつまごはん会」として下馬・野沢地区に住んでい

る方と夕ごはんを食べる会を始めました。

やっぱり人と会えるのはいいね

2020年から新型コロナウイルス感染症が世界で蔓延し、交流することが制限され、夕ごはん会も中止せざるを得なくなりました。そんな状況もある程度落ち着いていたことから、2025年度から、センターでは「みんなの居場所しもつま」と称して3つの事業を再開しました。「久しぶりに会えて嬉しいよ!」「はじめましての方、こんにちは。よろしくね。」と再会と新しい出会いが生まれ、職員たちも嬉しく思っています。みんな繋がり「おたがいさま」のボランティアライフを一緒につくりあげています。

次のページから、ボランティアセンターの「みんなの居場所しもつま」と各ボランティアビューローでの取り組みを紹介します。



【てあみときっての会】毎週火曜日 14 時～16 時に、みなさんで楽しくお話し、教えたり教わったりしながら手編みをしたり、使用済み切手の整理をしています。たくさん毛糸を使用するので、毛糸をくださる方大募集中です！また、整理した切手は、事業者へ持ち込み、売上はボランティアの活動に活用しています。



【うまうま食堂】ボランティアセンター近隣にお住まいの方、みんなで一緒においしいごはんを作って食べましょう。2026 年度は 6 月、9 月、12 月、2027 年 3 月の年 4 回開催予定です。詳細はセンターにお問い合わせください。



【しもうまスチューデントクラブ (SSC)】センター近隣の学生を中心に活動しています。当協会主催のイベントや、うまうま食堂でもボランティアとして活動しています。うまうま食堂が開始できたのは、学生のみなさんが厨房を一緒に片付けてくれたおかげでもあります。

◆それぞれの活動の問合せ：世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101



北沢ビューロー ご近所カフェ 企画

あなたの思い出の歌を  
一緒に歌いましょう♪

～ピアノ伴奏で、楽しい初夏のひと時を～

5月16日(土) 13:30～16:00

♪ Let's Sing! ♪

あなたの、思い出の歌はありますか?  
昭和、昭和、平成、平成、ポップス、  
フォーク、ロック、洋楽、合唱曲……を、  
久しぶりに、思いやり歌ってあげませんか?  
みなさんには、ひと夏の思い出が、  
みんなと一緒に歌えば、楽しさも倍増!  
ぜひ、お誘い合わせください!

参加費 100円(茶菓子代)  
場所:北沢ボランティアビューロー 3階  
詳細:玉川地区 電話:03-3420-2520  
定員:10名(複数申し込み可) (申込時キャンセル料をいただく場合があります)  
申込:TEL:03-3420-2520 メール:kitazawa@volunteer.or.jp

主催:北沢ボランティアビューロー 協賛:北沢ボランティアビューロー

北沢  
ボランティア  
ビューロー

【手づくり市】北沢ボランティアビューローには、てしごと、ひだまり、Ami 編、洋裁和布小物作り、カルトナージュアイリスという5つの手作りグループがあります。年1回「手づくり市」を開いて、地域の方々と交流する機会を作っています。売上は、活動資金や寄付に充てています。作って売ることによってボランティア活動につながっています。

【ご近所カフェ】“こんにちは”から始めませんか?奇数月の第3土曜日、ご近所さんが集まって、みんなで楽しい時間を過ごしましょう。人気企画は「一緒に歌いましょう♪」。明日からは、顔見知り、ご近所で“こんにちは”の輪を広げましょう。

◆問合せ:北沢ボランティアビューロー TEL:03-3420-2520

玉川  
ボランティア  
ビューロー



【ボラカフェ】みんなでおしゃべりしながら、それぞれ得意な手芸や編み物を楽しむ会です。ボランティアに関心はあるけれど一歩踏み出せずにいる方に、特技や興味を活かして社会参加できる場をつくろうと始めました。カフェのような気軽な雰囲気の中で、身近な材料を使った小物やアクセサリ、アクリルたわしなどを製作しています。

作品は玉川ボランティアビューローで展示・販売し、その売上は当協会にご寄付いただき、ボランティア・市民活動の推進に活用させていただいています。地域のイベントでは子ども向け手芸ワークショップも開催しています。

◆場所:玉川ボランティアビューロー ◆日時:毎月第1金曜 13時30分～16時(開催日の変更になる場合あり) ◆参加費:200円(茶菓子代含む)

◆問合せ:玉川ボランティアビューロー TEL:03-3707-3528



砧  
ボランティア  
ビューロー  
準備室

【おしゃべりサロンきぬたまり】会話の少ない人やおしゃべりしたい人が、気軽に参加できる場として開催しています。始めたときはコロナ禍でしたが、距離を取りながら交流が途絶えないようにしてきました。人と人の心がふれあう場所は、時間がたっても必要性をますます感じています。月1回開催していますのでお気軽にご参加ください。

◆日時：4/8, 5/13, 6/10, 7/8, 8/12, 9/9, 10/7, 11/4, 12/2, 2027/1/6, 2/10, 3/10  
毎回水曜 13時30分～15時

◆会場：成城まちづくりセンター1階 活動フロア ◆参加費：100円

◆問合せ：砧ボランティアビューロー準備室 TEL:03-6411-4007



烏山  
ボランティア  
ビューロー

【使用済み切手整理のボランティア】整理した切手は、事業者へ持ち込み、売上はボランティア活動に充てています。事前の申し込みは必要ありません、飛び入りの参加も可能です。どんなボランティア活動をしようかと考えている方におすすめです。お気軽にご参加ください。

◆日時：毎月第4水曜 14時～16時 ◆場所：烏山ボランティアビューロー

【手芸クラブ Tikku・Tiku】みんなで和気あいあいおしゃべりしながら、教えたり教わったり、自由な雰囲気で作る作品に挑戦しましょう！

◆日時：毎月第2木曜 14時～16時 ◆場所：烏山ボランティアビューロー

◆持ち物：「毛糸」と「かぎ針」（6号くらい） ◆参加費：100円（資料・お茶代）

◆問合せ：烏山ボランティアビューロー TEL：03-6909-0333

# まちの市民力

街の中で地域やそこで暮らす人たちと一緒に活動している団体を紹介します。  
取材・花田 朋美

## ～まちの人々が 自由に気軽に表現できるメディア～ 赤堤通り編集室



昨年、梅ヶ丘にある小さなカルチャーセンターへ「パブリコ」に『赤堤通り編集室』という小冊子が生まれました。大学生の石山大喜さんと会社員の花田一郎さんがまちの人々が気軽に表現するための小冊子をつくらうと意気投合し、夏には創立メンバーでつくった創刊準備号0号が完成しました。

『赤堤通り編集室』は、誰でも自由に、軽やかに発信できたらという思いで、一般の人からの寄稿を募集しています。そこで、今回創設メンバーが『赤堤通り編集室』をどんな場にしたいか語り合いました。

生みの親の一人である石山さんは、「パブリコを予定調和ではなく整うことのない力オスな場所

にしていきたいと考えていたとき、『赤堤通り編集室』は既存の『つるつとしたもの』にまとめられないよう自分たちで意気揚々と書いていきたいと思った。そういうものと力オスな場にしていきたいという思いが結びつき今回の場をつくるきっかけになった。」

花田さんは、「同時代を生きる人たちが書かれたものを持ち寄ってつくりたい。書いたものに向き合うとその人の本音や根っこのようなところが出てくるので、その人のことが信頼できるようになる。だからこそ誰かが書いたものを読みたいと思って始めた。」

『パブリコ』を運営する石山恭子さんは「表現することはその人らしく生きていけることだと思う。みんな遠慮してしまうけれども、気軽に表現できる場ができればいい。誰かが書いたものを通して表現の内側で自分も共鳴できればいいと思う。」

今回の座談会では、創立メンバーそれぞれが違った思いや目的があることがわかりました。

「いい文章を書くことしなくてもいい、間違いないかとか恐れないで気楽に表現してほしい。他の人が書いたものを見ることで、それが刺激となってまたいろんな人に波及していったらいいと思います。」

今後、春には第2号を発行する予定です。ご興味ある方は、まずは気軽にパブリコにある『赤堤通り編集室』をご覧ください。寄稿も随時募集しています。カジュアルに気軽に発信し表現できるような場がここから生まれ広がっていくことを願い、今後もゆとり丁寧にみんなの声を紡いでいこうと考えています。



写真左) 増刊準備号0号 写真右) 1号  
現在、2号を制作中です。寄稿も随時お待ちしています

### 【赤堤通り編集室】

みなさんからの寄稿を募集しています！  
寄稿など詳細は二次元コードからご確認ください。



# せたがやキラリ人

世田谷区を中心に活躍する  
キラリと光る素敵なたたご紹介します  
取材・星野 弥生



～ぶんか村学校の校長先生～  
佐藤 三智子さん  
さとう みちこ

世田谷ぶんか村PLACEの誕生は4年前。船橋の地域にはすでに22年前から「子どもぶんか村」なる活動がありました。区に委嘱された「青少年船橋地区委員会」が中心になって運営する、文字通り「子ども」の「文化」を育む場です。船橋地区の伝説的な存在であった故駒井澄子さんの呼びかけに応じて発足しました。

公立学校で週5日制が取り入れられ、子どもたちが土曜日を過ごす場として中学校の校長先生なども積極的に関わり、さまざまなかぶが地域に誕生しました。「船橋児童館」に集まってヒゲさん（故澤畑勉さん）たちと遊びを考えできた親たちが、駒井さんの子どもを思う気持ちに共感したので

す。」と佐藤さん。ジュニアオーケストラ、ジュニアコーラス、いけ花、茶道、演劇くらぶ、科学くらぶ、ものづくりくらぶ、ボランティアなどが今も続いています。地域は人材の宝庫。オーケストラの指導は、現役指揮者の方。元学校の理科の先生は科学くらぶに手を貸してくださいます。若いお母さんたちが「よその子と関わることで自分の子どもが見えた」と参加するようになりました。

しかしコロナ禍の頃に気が付かされたのは、親に余裕がなく学校との関わりが少ない家の子どもたちには支援が届きにくいということ。そこで子ども支援のためのNPOとしてPLACEの活動が始まりました。「学習支援」「食の支援」「子育て支援」が柱です。子どもたちが知るきっかけとなるのは、無料でおやつを配布する「おやつステーション」。毎週月・水の15時15分から、近隣の小学校の子どもたちが100人も集まってくるとか。「そこから、気になる子ども、ちゃんと食べることで

きない子どもが見えてきます。「いじめにあっている子、不登校の子や障がいのある子も来ることでできるのは、学校、学年を超えて関係を作っていくことができるから」と佐藤さん。

食の支援の日には約15人が集まり、学習支援は教員免許をもっているお母さんや近隣の元大東学園の国語の先生が担当。ここにも地域の人材が活かされます。これだけの活動にどうやってお金をやりくりするのでしょうか。「10年前から多摩川の花火大会でビールを売り、20万円稼ぐんです」。

会の運営を担う理事会は、若い人も含めて15人。佐藤さんは会長です。「学級のような各くらぶをいわばクラス担任が担い、私はぶんか村学校の校長先生かな。」結婚以来ずっと世田谷で暮らし、すっかり駒井さんの思いを引き継いだ佐藤さん「私の人生しあわせだなあと最近思います。こんなに信頼できる人たちに囲まれているんだから」。まさに地域を作るのは「人」と「場」ですね。

## 卓球の相手をしてくださるボランティアを募集

誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指す NPO 法人コミュニティ・ネットワーク・ウェブでは、高齢女性グループ（80～90代、2～3人）の卓球遊びの相手をしてくださるボランティアの方を募集しています。健康維持のため楽しく遊ぶことを目的としていますので、卓球が上手くなくても大丈夫です。詳しくは電話でお問合せください。

- 日時／毎週金曜日 14 時～ 15 時半（毎週が難しい場合、都合のつく時だけでも OK）
- 場所／ウェブ分室（弦巻 2-39-11）
- 交通／東急田園都市線三軒茶屋駅下車～東急バス（渋 05）弦巻中学校下車徒歩約 3 分
- 条件／謝礼は出ませんが、遊んだ後にお茶菓子が出るティータイムがあります。
- 問合せ／NPO 法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェブ 担当：一宮  
TEL：070-5457-7781

## 小学 2 年生の送迎ボランティアを募集

知的障害がある小学 2 年生女の子の学校・デイサービスへの送迎をお手伝いいただける方を募集しています。お願いしたい内容は、下記①と②です。詳細はお問い合わせください。

- ①自宅から学校送迎バスのバス停まで徒歩 15 分ほどの距離を一緒に歩いていただく。  
場所／自宅は松原 3 丁目、バス停は甲州街道沿い  
曜日／月・火・水・木・金  
時間／8 時に自宅出発～8 時 15 分くらいにバス停着
- ②バス停から放課後等デイサービス（赤堤 2 丁目）に送っていただく。  
曜日と時間／月曜日は 13 時 55 分 木曜日は 15 時 45 分
- 問合せ／北沢ボランティアビューロー 担当：中里  
TEL：03-3420-2520 メール：kitabora@otagaisama.or.jp

## 烏山病院デイケアでボランティアを募集しています

烏山病院デイケアは、精神疾患を持つ方が地域から通うリハビリテーション施設です。20代から70代まで幅広い年代の方が利用しており、日々さまざまなプログラムを通して、生活づくりや就学・就労に向けた準備を行っています。そんなデイケアで、下記プログラムのお手伝いをしていただけるボランティアの方を募集しています。昔から得意だったこと・何気なく続けているけれど、よく褒められることなど、“あなたの得意”を60分程度、利用者の方と一緒に楽しみながら教えていただけませんか？

- ①パソコン（WORD、EXCELの基本的な使い方など）
- ②手工芸（折り紙、編み物、刺しゅう、ちぎり絵など）
- ③俳句・短歌・簡単な体操・昔の遊び・囲碁・将棋なども大歓迎
- 日時／ご都合の良い平日
- 場所／昭和医科大学烏山病院（北烏山 6-11-11）
- 交通／京王線千歳烏山駅西口下車徒歩約 10 分
- 問合せ／昭和医科大学烏山病院 担当：山崎  
TEL：03-3300-5231 メール：karasukan@ofc.showa-u.ac.jp

## 自宅～バス停の送迎をしてくださる方を探しています

特別支援学校に通う中学生の男子の通学時（自宅⇄バス停）を見守って歩いてくださる方を探しています。普段はご両親が分担して送迎をしていますが、最近、お母さんの体調が不安定で入院の可能性もあるため、無理ができない状況です。お父さんは仕事があり送迎できる日が限られます。週1回だけでも手伝っていただくと助かります。男の子は落ち着いていて、急に走り出すことはありません。道の端を歩くように促し、道路を渡るときに声掛けをしていただきたいと思います。ディズニーランドやUSJのアトラクション動画を見るのが大好きな優しいお子さんです。詳しくはお問い合わせください。ご連絡をお待ちしています。

●内容／自宅（奥沢）⇄バス停（東玉川2丁目）の送迎（徒歩15分～20分）

●時間／送り：7時30分 自宅出発 → 7時50分 バス停

迎え：月・火・金曜日は16時バス停→自宅 木曜日は14時15分バス停→自宅

●条件／男性または40歳以上の女性

●交通費／支給（上限あり）

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

## 4歳の女の子の保育園の送迎を手伝ってくださる方を募集

4歳の女の子を朝、保育園まで送ってくださる方を募集しています。お母さんと二人暮らしですが、お母さんは病を患っていて無理ができません。週1回だけでもお手伝いいただくと助かります。女の子は、きかんしゃトーマスや乗り物が大好きで、人なつくて明るいお子さんです。詳しくはお問い合わせください。ご連絡をお待ちしています。

●日時／火曜日の朝（繁忙期は別日もお願いしたいです）

●内容／7時15分に自宅（東急大井町線 上野毛駅近辺）に迎えに行き保育園（東急大井町線等々力駅より徒歩約8分）まで送る。おしゃべりを楽しみながら20分程度の道のりを歩いていただけます。用意してあるバギーに乗るので歩いて移動するよりも安全です。

●条件／子育て経験のある女性。交通費は出ません。

●問合せ／玉川ボランティアビューロー

TEL：03-3707-3528 メール：tamabora@otagaisama.or.jp

## 【能登支援】写真洗浄ボランティアを募集

写真洗浄ボランティア「課外のあらいぐま」では、東京でできる被災地支援のボランティアを募集しています。写真洗浄ボランティアとは、水害などで濡れて汚れてしまった写真をアルバムから剥がし、水洗いで綺麗にして持ち主の方へ返却する活動です。かつて東日本大震災や西日本豪雨、2019年台風19号（川崎）の写真洗浄に取り組んできました。この度、2024年能登半島地震及び9月豪雨により被災した写真を預かり洗浄します。

小学生以上でしたらどなたでも参加できます。持ち物はカッター・ハサミ・新聞紙などです。インターネット「写真洗浄」で検索すると全国の写真洗浄やメディア記事など出てきますのでイメージが湧きやすいかもしれません。お金では買戻せない大切な写真を救う作業を一緒にしませんか？最新の活動情報等は右下の二次元コードからご確認ください。

●日時／毎週土曜、または日曜（予定）

●会場／世田谷ボランティアセンター（下馬2-20-14）

●交通／東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩12分

●募集人数／毎回20名程度

●条件／初回200円、2回目以降30円（能登との往復宅配便代、備品代）

●問合せ／課外のあらいぐま 担当：松浦

右記二次元コードからお願いします。



上記掲載記事は3月17日時点の情報です。  
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

## 2026 年度「せたがやチャイルドライン 公開講座」 参加者募集

『今を生きる子どもの現状を一緒に学びませんか?』

チャイルドラインは、1998年に日本で初めて世田谷で実施された子どもたちのための電話で、今では全国約70カ所で電話を受けており、全国どこからでも無料でかけられる電話です。子どもをとりまく環境は今も大きく変化しています。本公開講座では、今を生きる子どもをテーマに、子どもたちの今を皆さんにお伝えします。どなたでも受けられる講座です。ぜひこの機会に子どもたちの現状を私たちと一緒に学んでみませんか。

- 開講日/5月23日、6月13日、27日、7月4日、11日、25日  
※全8講座。全て土曜日の開催です。  
※スケジュール詳細は右記二次元コードでご確認ください。
- 参加方法/会場参加またはオンライン参加 (Zoom)  
※会場：世田谷ボランティアセンター (下馬 2-20-14)  
※交通：東急田園都市線・世田谷線三軒茶屋駅徒歩 12分
- 対象/子どもの現状について関心のある方、どなたでも。  
※1講座から受講できます。
- 受講料/1講座 2,000円 (学生 1,000円)  
※第8回のみ1講座 4,000円 (学生 2,000円)  
※初回申込時に全8講座分を一括でお支払いの場合、一般 17,000円 (学生 8,500円) です。
- 申込み/右記二次元コードにある【講座申込みフォーム】からお申込みください。
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター せたがやチャイルドライン事務局  
TEL: 03-5712-5101



## 音訳ボランティア養成研修説明会を開催します

世田谷録音奉仕グループ「ひびき」は、1978年から梅丘を拠点に視覚障害者のための録音図書を作り続けているボランティアグループです。現在、『将棋世界』(日本将棋連盟発行)や新聞記事の抜粋など、5つの定期刊行物をCDにして発行し、視覚障害者等の方へ届けています。また、個別にご依頼いただいた書籍等の音訳、さらに通常の音訳に加えて、音声合成(テキスト音声読み上げソフト)による音訳もお受けしています。(活動についてはホームページでもご案内していますのでご覧ください)この度、下記日程で「音訳ボランティア養成研修説明会」を開催します。参加を希望される方はメールでご連絡ください。

- 日時/5月9日(土)、12日(火) 10時~11時30分
- 場所/世田谷区児童相談所内会議室(松原 6-41-7)
- 交通/小田急線梅ヶ丘駅、小田急線豪徳寺駅、東急世田谷線山下駅下車 徒歩約5分
- 問合せ/世田谷録音奉仕グループひびき  
メール: info.setagaya.hibiki@gmail.com



## AIシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAIシステムによるマッチングサイト(世田谷版G B E R「ジーバー」)で結び付け、経験や希望に合ったボランティア活動を紹介します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



## 子育て家庭・不登校に寄り添う訪問ワーカー養成講座を開催します

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカー（ケアワーカー／ユースワーカー）として世田谷区で活動していただける方向けの養成講座を開催します。

本講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題（児童虐待、不登校、いじめ、非行など）や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。講座の中では、訪問ワーカーの活動事例についても詳しく説明しますので、活動について知りたい・活動してみたいという方もご参加ください。

●日時／4月25日（土）13時30分～16時30分（開場13時15分）

●会場／喜多見地区会館2F（喜多見8-23-23）

●交通／小田急線喜多見駅下車徒歩約3分

●募集数／30名

●参加費／一般1,000円、学生500円

●申込み／下記二次元コードの問い合わせフォーム、もしくは電話にてお申し込みください。

●問合せ／NPO法人 日本子どもソーシャルワーク協会  
担当：波多野 TEL：03-5727-2133



## もっと語ろう不登校 part.311

これまで32年間にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／5月11日（土）14時～

●場所／NPO フリースクール僕んち（代田4-32-17）、または ZOOM にて

●参加費／300円（カンパ歓迎） ●交通／小田急線梅ヶ丘駅下車徒歩約10分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっと語ろう不登校」担当 高橋  
TEL：090-3905-8124 メール：fsbttoru@yahoo.co.jp

## 市民活動・NPO 相談

世田谷区内で活動を始めたい方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方はお問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。（原則として事前予約制です）

●問合せ／最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。

電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

## 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ぜひご相談ください。電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101

メール：v-soudan@otagaisama.or.jp

上記掲載記事は3月17日時点の情報です。

変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



### 相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】  
災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】  
リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】  
訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】  
介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】  
障害について ▶ 【ぽーとせたがや、スペース ココカラ。】

協会職員大募集/  
作業療法士 訪問介護員  
支援員 相談員

寄付で社会参加

### ご寄付のお願い

- クレジットカード
- Amazon Pay
- 銀行振込

お支払い方法が  
選べます。

寄付金控除を受けられます



ホームページ



Facebook



Instagram

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。